

鳥建技第 199 号
平成23年10月14日

国土交通省鳥取河川国道事務所長
国土交通省倉吉河川国道事務所長
国土交通省日野河川国道事務所長
鳥取県各部長
鳥取県行政監察監
鳥取県企業局長
鳥取県教育長
鳥取県警察本部長
鳥取県各総合事務所長
鳥取県鳥取空港管理事務所長
鳥取県鳥取港湾事務所長
鳥取市水道事業管理者
県内各市町村長
(社)鳥取県建設業協会長
(社)鳥取県建設業協会県内各支部長

様

財団法人鳥取県建設技術センター代表理事



建設発生土運搬車輛の運搬土量換算表の改定について（通知）

このことについて、平成23年10月1日に鳥取県土木工事標準積算基準が改正されたことにともない、当センターで受け入れる建設発生土の運搬土量換算表を別紙のとおり改定し、平成23年11月1日以降搬入するものから適用することとしますので、通知します。

連絡先

財団法人鳥取県建設技術センター
建設支援課建設発生土支援室

澤村、大西

(電話) 0858-26-6089

運搬土量換算表

(土木工事標準積算基準による土質分類の場合)

土質	単位体積重量 (t/m ³)	地山土量(m ³)			
		10t積	8t積	4t積	2t積
土 砂	1.8	5.2	4.4	2.2	1.1
軟 岩	2.2	4.3	3.6	1.8	0.9
硬 岩	2.5	3.8	3.2	1.6	0.8

(道路土工指針及び道路橋示方書による土質分類の場合)

土質	単位体積重量 (t/m ³)	地山土量(m ³)			
		10t積	8t積	4t積	2t積
砂及び砂礫	2.0	4.7	4.0	2.0	1.0
砂質土	1.9	5.0	4.2	2.1	1.0
粘性土	1.8	5.2	4.4	2.2	1.1

参考資料

(新旧対照表及び運搬土量の計算)

運搬土量換算表

平成8年4月1日改定

分類名称	地山土量 (m ³)				土質の特徴
	10t車	8t車	4t車	2t車	
土砂	5.5	4.4	2.2	1.1	土質判別が歴然としない場合
軟岩	4.5	3.6	1.8	0.9	固結の程度がよく風化の進んだ岩 [弾性波速度 700~800m/sec]
硬岩	4.0	3.2	1.6	0.8	亀裂がまったくないか、密着のよい岩 [弾性波速度 3,000m/sec以上]

土質判別が明らかな場合

分類名称	地山土量 (m ³)				土質の特徴
	10t車	8t車	4t車	2t車	
レキ質土	5.0	4.0	2.0	1.0	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土など
砂質土	5.2	4.2	2.1	1.1	海岸砂丘の砂、まき土など
粘性土	5.5	4.4	2.2	1.1	ローム、粘土など

《参考》

☆積載の方法について（道路交通法第55条、第56条、第57条）

自動車等の車両の運転手は、当該車両について定められた重量等を積載してはならない。この場合、定められたとは、自動車検査証に記載されたということであり、自動車検査証に記載された最大積載量等をオーバーしてはならないということである。

☆車両の積載物の落下予防措置等（道路法第43条の2）

道路管理者は、道路を通行している車両の積載物が落下するおそれがあり、その積載物が落下することにより道路が損傷し、または交通に支障をきたすおそれがあるときは、当該車両を運転しているものに対し、当該車両の通行の中止または積載方法を是正させる等の必要な措置を命ずることができる。

改定後

(アンダーラインが改正箇所)

運搬土量換算表

平成23年11月1日改定

(土木工事標準積算基準による土質分類の場合)

土質	単位体積重量 (t/m ³)	地山土量(m ³)			
		10t積	8t積	4t積	2t積
土 砂	1.8	<u>5.2</u>	4.4	2.2	1.1
軟 岩	2.2	<u>4.3</u>	3.6	1.8	0.9
硬 岩	2.5	<u>3.8</u>	3.2	1.6	0.8

(道路土工指針及び道路橋示方書による土質分類の場合)

土質	単位体積重量 (t/m ³)	地山土量(m ³)			
		10t積	8t積	4t積	2t積
砂及び砂礫	2.0	<u>4.7</u>	4.0	2.0	1.0
砂質土	1.9	<u>5.0</u>	4.2	2.1	<u>1.0</u>
粘性土	1.8	<u>5.2</u>	4.4	2.2	1.1

改定理由

平成23年10月1日以降適用の、鳥取県土木工事標準積算基準において、10t積ダンプトラックの積載重量が10tから9.5tに改定されたこと等による。

10トンダンプトラックの運搬土量の計算

(土木工事標準積算基準による土質分類の場合)

土質	単位 体積 重量 (t/m ³)	10トンダンプトラックの運搬土量の計算	
		改正前 (積載重量 10.0t)	改正後 (積載重量 9.5t)
土 砂	1.8	$10.0t \div 1.8t/m^3 = 5.555m^3 \approx 5.5m^3$	$9.5t \div 1.8t/m^3 = 5.277m^3 \approx 5.2m^3$
軟 岩	2.2	$10.0t \div 2.2t/m^3 = 4.545m^3 \approx 4.5m^3$	$9.5t \div 2.2t/m^3 = 4.318m^3 \approx 4.3m^3$
硬 岩	2.5	$10.0t \div 2.5t/m^3 = 4.000m^3 \approx 4.0m^3$	$9.5t \div 2.5t/m^3 = 3.800m^3 \approx 3.8m^3$

(道路土工指針及び道路橋示方書による土質分類の場合)

土質	単位 体積 重量 (t/m ³)	10トンダンプトラックの運搬土量の計算	
		改正前 (積載重量 10.0t)	改正後 (積載重量 9.5t)
砂及び砂礫	2.0	$10.0t \div 2.0t/m^3 = 5.00m^3 \approx 5.0m^3$	$9.5t \div 2.0t/m^3 = 4.750m^3 \approx 4.7m^3$
砂 質 土	1.9	$10.0t \div 1.9t/m^3 = 5.263m^3 \approx 5.2m^3$	$9.5t \div 1.9t/m^3 = 5.000m^3 \approx 5.0m^3$
粘 性 土	1.8	$10.0t \div 1.8t/m^3 = 5.555m^3 \approx 5.5m^3$	$9.5t \div 1.8t/m^3 = 5.277m^3 \approx 5.2m^3$

2トンダンプトラックの運搬土量の計算

(道路土工指針及び道路橋示方書による土質分類の場合)

土質	単位 体積 重量 (t/m ³)	2トンダンプトラックの運搬土量の計算	
		改正前 (積載重量 2.0t)	改正後 (積載重量 2.0t)
砂 質 土	1.9	$2.0t \div 1.9t/m^3 = 1.052m^3 \approx 1.1m^3$	$2.0t \div 1.9t/m^3 = 1.052m^3 \approx 1.0m^3$